

議会だより

NO.77 2013
1・25

たからほ

〈宮崎県高千穂町議会〉



華やかでいいなあ～（第65回高千穂町成人式）

12月の補正は 2

教育・福祉の調査報告 6～7

もくみ経営はユニックスへ 4

国見ヶ丘の景観整備 2～3





これが聞きてえ～

質疑 「みやぎ感謝プロジェクト」事業補助金300万円の内容は。

答弁 平成25年1月13日に開催される「第18回神話の里から面争奪小学校バレーボール大会」に、みやぎから東日本へ感謝を届ける市町村支援事業を活用し、東日本震災で被災された仙台市内のスポーツ少年団を招待する。

仙台市の少年団を招待



思い出をありがとう

武道館の空調設備

質疑 武道館の空調設備3200万円補正の内容は。

答弁 武道館は利用率が非常に高く、暖房設備の故障により町民の皆様迷惑をかけており、緊急補正を計上した。メンテナンス業者と随意契約で対応したい。



ドアがあげられんが

国見ヶ丘の悪い景観は

質疑 商工費委託料400万円の内容と、今後の予定は。

答弁 国見ヶ丘周辺は立木により景観が悪く、高千穂市街地や雲海を見ることができず、観光客に迷惑をかけている。森林組合に伐採を委託し、今後は阿蘇方向の伐採を視野に入れながら、地権者との用地交渉を計画中である。

質疑 財政課所管、50万円の補正内容は。

答弁 御塩井駐車場の区画線を整備するための補正である。

現在の区画線は幅がかなり狭く、車の大型化に対応できない状態で、接触事故の原因になっており、総区画整理ラインの引き直しを行う。

御塩井駐車場の整備



鬼八の蔵(がまだせ市場)

鬼八の蔵をどうする

質疑 直売店運営補助費200万円の補正内容と今後の方針は。

答弁 鬼八の蔵の運営補助金である。

平成24年度売上が3300万円になり、町中心街に人の流れを取り戻そうと努力されており、今後も前向きな支援を行う。道の駅とがまだせ市場を、地域農業と商店街活性化の原点と考えている。

平成24年度 補正額

1億2549万円を追加

一般会計総額85億5812万円に

12月定例会

平成24年第4回の定例会は12月3日に開会し、補正予算議案5件・条例改正議案2件・その他の議案1件を審査し、原案通り全会一致で可決、14日に閉会しました。

11月5日に開かれた第1回臨時会では専決処分1件・人事案件2件・その他の議案1件を審査し、原案通り可決、承認しました。

補正額の主なものは

補正額は1億2549万4000円で、内訳は
 復興費1577万円・商工費450万円などとなっています。



みはらしがよかった(国見ヶ丘)

◎民生費

障害福祉サービス費、厚生医療給付費などです。

◎教育費

武道館の冷暖房設備が20年を経過し故障が発生したため、改修工事を行います。

◎災害復旧費

農地19ヶ所、用水、農道で35ヶ所です。

◎商工費

国見ヶ丘周辺環境整備委託料などです。

よろしくお願いします

固定資産評価審査委員



選任同意
 自: H24.12.1
 任期 至: H27.11.30

奈須 豊明 委員 (66歳)

◇選任同意とは？
 町長が多くの人の中から、任務に一番適任であると思われる人を選んで公職に就かせることを言い、議会に同意を得ることで決まります。

高千穂町教育委員会委員



任命同意
 自: H24.11.25
 任期 至: H28.11.24

黒木 康雄 委員 (68歳)

◇任命同意とは？
 町長が個人に対して、町長の意志に基づいて公職に就くよう命ずることを言い、選任と同様に議会の同意が必要です。

暴力団による 不当な行為の防止

〈改正の内容〉
事業者は暴力団の不当要求による被害を防止するために必要な責任者の選任や、不当要求に対応する使用人などの対応方法などの措置を講ずるよう努める。
また、その事業活動を通じて暴力団員に不当な利益を得させることが無いよう努めなければならない。



早めの対策を

条例の一部改正



活性化するぞーっ

秋元公民館 “おりじん”

秋元地区は町中心部より12キロほど南部に位置し、人口114人が住む中山間地域です。
“おりじん”とは村づくりの拠点・源という意味が込められており、秋元地区民の結束力が高まり、さらに活性化することを望みます。

公の施設に追加

有害獣対策を視察 竹田市名子地区で 全議員が研修

11月1日大分県竹田市名子地区において有害獣対策施設及びしいたけ栽培の視察研修を行いました。
防護柵設置事業を活用し、事業費770万円、名子地区負担300万円で、金属製メッシュ柵は、圃場ごとに設置しており、「ためき」や「むじな」なども通れないほどの柵



JA 高千穂地区にも出荷予定



こんならせわねえばい

目状になっていました。
また、地元の竹田建設が取り組んでいる竹田名水農園でのしいたけ栽培施設も視察させていただきました。

(株)ユニックスが 熊本市 引き継ぐ



2×4のパネル組立て(ユニックス工場)

第3セクター (株)もくみ

第三セクターで運営されてきた(株)もくみは、平成24年4月23日、民事再生手続きの申し立てを行い、経営継続を断念しました。
8月24日には、企業グループの再編や事業統合、経営不振の企業救済などを引き継ぐ予定です。

安全性の確保を要望

米軍機 オスプレイの飛行訓練



最大速度520km/h
行動半径600km/h
搭載量5.7t

11月15日午後2時30分から本町において、米軍機オスプレイの飛行訓練に関する説明が九州防衛局企画部よりありました。
実施時期は明らかではありませんが、九州では阿蘇を中心とした大分、福岡、熊本、宮崎県を飛行するイエロールートで計画されています。
米軍の運用上事項であるため詳細については、九州防衛局で把握していませんが低空飛行訓練を

本町からの要望

外交・防衛の重要性は認識しており、協力する必要があると考えているが、住民の安全が侵害されるものについては徹底した安全性の確保を図るよう要望しました。

実施する際は原則として150メートル以上の高度で飛行し、人口密集地は避けるよう日米合同委員会でも合意しています。

福祉作業所を調査

町内の福祉作業所3施設の実態調査を11月15日に実施しました。

ふれあい作業所
あまてらす
(岩戸…利用者18人)

室内作業班は、チーズ饅頭作りと、五ヶ瀬物産・JAからの委託で椎茸・唐辛子・ネギ・ピーマンなど農産物の選別作業を行っています。

また、屋外作業班は、運動公園の清掃作業と、農家の米かけ、椎茸のコマ打ちなどを行っています。

あまてらすでは、平成22年5月にケアホーム「つよし荘」を三田井神殿に開設し、入居者は9人で、障害者の支援をしています。

「事業所からの要望」
利用者の賃金単価は、

県の平均に達していないため指導を受けている。町内には仕事が少ないので行政・企業・地域の方々に協力をいただきたい。

高千穂焼作業所
(岩戸…利用者18人)

作業内容は、まが玉・神楽面土鈴・フクロウス・トラップ・パッチワーク・マスコットを作っています。

売店「華幸望」では、作業所での作品全部と蒸しパン・楽願・そば入り神楽太鼓菓子を販売しています。

「事業所からの要望」
将来的には、職員体制が整えば、グループホームが必要だと思っている。高千穂町も障害福祉に對してもう少し支援を強

化していただきたい。

生活介護事業所・一歩
(下野…利用者12人)

平成6年に、保育園に通う障害児の親で「一歩会」という親の会を立ち上げ、障害判定3以上の方が該当する施設として現在に至っています。利用者に対して医学的・



ふれあい作業所あまてらす

心理的管理のもとで、身体に合った健康で明るい生きがいのある社会生活ができるように支援しています。

「事業所からの要望」

重度の障害者が生活していくためには、ケアホームが必要である。

また、24時間体制のヘルパー支援・行動や移動支援がないと地域で暮らすことは厳しいので、関係機関が連携して安心して暮らせる体制を整えていただきたい。

—福祉・介護—

5つの事項を強く要望!

自で支援すること。

③福祉分野で、行政の役割を確立し、業務の利便性と住民サービス向上を目指すために、社会福祉士の専門職を増員し、適正に配置すること。

福祉制度確保のため、研修など、積極的に参加すること。

④現在、福祉保険課が行っている業務と、「げんき荘」が行っている業務を再度検証し、本町にある施設を最大限活用して、住民に利用しやすい窓口の一本化を行い、業務機能体制の構築を早急に図ること。

⑤高齢者・障害者・児童がこの地域で安心して暮らすため、担当課は事業状況を検証し、今できる対策や将来を見据えた早めの取り組みと政策を講じること。

委員会では、町内福祉介護施設の調査を踏まえ、町に次の事項を強く要望しました。

①介護予防のサテライト事業は、高齢者が生活が見つけ、元気に生活ができる支援事業であるので、車での送迎対策を講じること。

②町内で要支援・要介護を抱えている家族から一時的に預かる施設や介護施設・障害者施設建設の要望が寄せられている。

将来を見据えた介護施設に対して、補助金などの確保を行うとともに、高千穂町企業立地雇用促進条例の改正を行い町独

上野小中学校を訪問



勉強がんばっちょるばい(上野小中学校)

上野小中学校を9月26日、北部教育事務所と町教育委員会の学校訪問があり、文教厚生常任委員会も同行しました。

委員一同清々しさを感じました。その後、学校経営案に沿って坂本校長より概要説明があり、小中併設校の特性を生かし、義務教育9年間を見通して構想を立てています。

教育推進の実践事項
①学びづくり・確かな学力。
②心づくり・豊かな心。
③体づくり・健やかな心。
④信頼される学校づくり・地域と一体となった教育です。

質疑応答

○小学生と中学生が同じ校舎で時間と空間を共有し始めて5年になるが、具体的な成果は。
◎小学生にとっては、中学生が身近な目標になり、中学校入学時の不安解消につながっています。中学生にとっては、思いやりの心、指導力の育成といった点が本校で育っていると思うし、地域からも評価を受けています。

その後、授業参観や各施設を見学して調査を終了しましたが、委員会では、次の閉会中に他の小中学校も調査します。

将来を見据えた

学校配置

委員会では、11月30日、黒木教育長と教育委員の方全員で教育行政について意見交換を行いました。

●児童・生徒は、日本の将来を担うこともたちであり、社会に対応できる心身ともに力強い子どもに育てる。



教育委員との意見交換

しんから 一般質問 聞くばい!!

町長・教育長に3人の質問

一般質問は議員の日常活動や考え方に基づき、町長もしくは教育委員長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は6分
一問一答方式で町長等の基本方針をたずねるもので町政全般について自由な質問が許された議員の権利です。

本町の平成24年定例議会の平均質問者数は5人で、県内の町村議会の中では一般質問が多く、活発な議論をしています。

議会だよりは、紙面が限られているので原稿は1人600字以内に制限しています。

町民のみなさんの傍聴をお待ちしています。



工藤博志議員

問 食や命の大切な学校、家庭を通じて身に付け、親子と家族の絆を深めようと取り入れられた「弁当の日」の定着状況は。

教育長 学校だけでなく家庭との連携が不可欠であり、各小中学校において「食育」の充実を図るとともに、家庭への「弁当の日」の成果や食に関する情報発信を積極的に行うことで、定着に結びつけていく。



たのしくて、おいしい!!

「弁当の日」定着を
教育長 家庭との連携が不可欠

学校給食の調理員の雇用は
町長 町歌の推進を

教育長 各種行事において
町長 町民になじみの少ない町歌を、親しみのある歌として普及推進する考えはないか。

問 安心・安全と危機管理が大変重要であることから、委託契約で経験者や継続雇用が優先されているが、有資格者で、働く場のない地元優先の雇用の考えはないか。

教育長 調理員としての資格はもちろん、学校給食の意義を理解し、安全で美味しい給食を提供する必要がある。

そのため研修を毎年夏季休暇中に実施し、質の向上に努めており、優秀な調理員が勤務している状況で特に問題はなく、継続雇用を原則として考えている。

問 各小中学校にCDを配布して、始業前、給食中、下校時などにBGM的に流しており、各種行事においても演奏している現在の取り組みで良いのではと思う。



皆、公平にせにゃのう



飯干清喜議員

家屋全棟調査の意義は
町長 税の公平性が目的

問 世の中厳しい折、増税が許される時期ではないと思われるが、減税が期待できるのか。

町長 今回の調査は増税や減税の観点からではなく、税の公平性を目的として実施している。

問 未評価の分は25年度から課税対象となる。

町長 住民の多くはやむをえずこの調査

問 緊急雇用促進事業補助金での事業であるが、都城市の業者に委託されている。

町長 この調査費は、補助金での事業であるが、都城市の業者に委託されている。

問 多くの委託事業が行われているが、もう少し中間検査や完成検査を強化すべきではないか。

町長 本町でも様々な分野で実施しなければならぬ状況となっている。

町長 厳しくチェックする

問 業務日誌、点検報告書などの提出を義務づけ、厳しくチェックしているが、今後もしっかり指導していく。



小学生の力作ばい（明るい町づくり事業）



馬原英治議員

花嫁対策とリーダー育成の拡大を
町長 関係機関と連携を強化

問 本町は人口減少と高齢化が進行し、農業と商工業の生産量や販売金額が減少傾向にある。

これからの中山間地での農業経営は、地域集団化、協同作業化が急務であり、商工業においても

町長 農林振興課所管の猿田彦会37人に協力をいただき、昨年「高千穂恋旅」を開催したが、成婚事例がないのが現状である。

今後は、JA高千穂や商工会と連携しながら、

シリーズ 走舗

かみの家



昭和26年かみの家前で
祖母小梅さんと3代目哲章さん



昭和40年 かみの家(3階建)



現在のかみの家で
4代目雄二郎さんと3代目哲章さん

旅館「上野屋」は昭和5年に三田井南町(現在地)で創業されました。初代の佐藤辰寛さんは旧上野村の黒口松の下出身で、大工の棟梁だったそうです。腕が良く、建物に限らず、木橋も造っていました。二人には子どもが授からず、小梅さんの姪にあたる笹の戸の工藤富さんを養女縁組みし、戦前縁

あつて緒嶋正松さんと結ばれました。旅館が活況を呈してきた昭和37年頃は秘境ブームで、高千穂峡には大勢の観光客が訪れるようになりました。菊田一夫脚本の映画「忘却の花びら」のロケが行われ、この頃から大型観光バスの宿泊客が団体化し、旅館も増築して対応するようになりました。今の屋号になったのは昭和40年頃、神話の里らしく、二代目正松さんが「かみの家」として命名されました。雄二郎さんは、自分の代で百年目を迎えるにあたり、次の代にバトンタッチできるように目の前のことを一生懸命にやり抜きたいと話されていました。

どうぞ傍聴席へ
次の定例会は
3月4日
開会予定です。

お見舞い

このたびの火災被害にもかかわらず、記事掲載について快くご了承いただきました。

ご協力に感謝し、心からお見舞い申し上げます。

編集後記

町民の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の政権交代で、中山間地の高千穂町が少しでも活性化されることを願っています。

議会報も平成6年の創刊以来、20年を経過しました。町民と議会をつなぐ唯一の広報誌として、本年も編集委員一同、心新たに読みやすい議会報を目指して誌面の充実に取り組みます。

厳寒の折、町民の皆様には健康に充分注意され、ご自愛のほどを申し上げます。(E・M)

発行責任者

議長 富 健一郎

議会報編集委員会

委員長 奈 須 克 喜
副委員長 佐 藤 久 生
委員 富 高 友 子
委員 戸 高 清 次
委員 坂 本 弘 明
委員 馬 原 英 治